

# 天理参考館 2017 年度 展覧会

## 特別展

### 「天理図書館 古典の至宝 — 新善本叢書刊行記念 —」

会期：9月16日(土)～11月27日(月)

I期：9月16日(土)～10月9日(月) II期：10月11日(水)～11月6日(月) III期：11月8日(水)～11月27日(月)

2015年4月から刊行が始まった新天理図書館善本叢書に収録される中から重要文化財『古事記』(道果本)や国宝『日本書紀』(乾元本)などの国史古記録、国宝『類聚名義抄』(観智院本)などの古辞書、『源氏物語』(池田本)や室町時代末から江戸初期にかけての奈良絵本、西鶴・芭蕉・蕪村の自筆資料など、国宝3点・重要文化財10点を含む古典籍70余点を3期に分けて公開します。

## 第79回企画展

### 「墳墓の護り手 — 鎮め護り彩る品々 —」

会期：4月12日(水)～6月5日(月)

古代中国で死者を邪悪な存在から護るために墳墓に納められた品々を展示します。古代中国の人々は、死後の世界とそこでの生活を想定し、生前世界とは異なった危険が存在すると考えていました。死後に魂や肉体を苦しめる邪鬼の類は大きな恐れの対象であったのです。展示品を通して古代の人々の死後に対する「恐れ」と「備え」を知っていただきたいと思います。

## 第80回企画展

### 「風とあそぶ — 中国山東省の凧 —」

会期：7月5日(水)～9月4日(月)

中国山東省の濰坊で制作された凧を中心に展示します。中国の凧は2000年以上の歴史があると言われています。現在も多く凧が作られていますが、特に濰坊は中国を代表する凧の産地として有名です。今回は、鳥(燕、鷺、鶴など)、昆虫(チョウ、トンボ、セミなど)、動物(虎など)等の珍しい形をした凧のほか、たくさんの凧を連結させて揚げる巨大な「龍頭ムカデ凧」(全長数十メートル)も展示します。賑やかで、お子様でも気軽に楽しめる展覧会です。

## 2018年新春展

### 「はれの日の装い — 装身具の歴史 —」

会期：2018年1月5日(金)～3月5日(月)

お正月は気持ちを新たに晴れ着を着たりして迎える特別な日です。そこで本展は、考古資料で装身具やお化粧の歴史をふりかえります。

人は昔から、綺麗に、立派に、威厳があるようになど、いろいろな目的で身体を飾ってきました。勾玉や耳飾りなどの装身具に加えて、土偶や埴輪の表現を通して、昔の人の特別な日の装いを見えます。

世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学附属

# 天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

開館時間：午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)

入館料：大人400円/団体(20名以上)300円

小・中学生200円(学校単位の団体無料・要事前申込)

※障がい者とその介護者各1名は無料となります。

受付カウンターに障がい者手帳をご提示ください。

天理参考館  
ウェブサイト

